



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年10月28日

上場会社名 株式会社シーユーシー 上場取引所 東  
コード番号 9158 URL http://www.cuc-jpn.com/  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 濱口 慶太  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 橋本 淳 TEL 03 (5005) 0808  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	21,611	40.8	3,047	71.3	3,180	89.3	1,981	92.4	2,009	93.3	452	△54.3
2024年3月期中間期	15,346	△17.9	1,778	△22.8	1,680	△26.2	1,029	△31.4	1,039	△31.2	990	△36.7

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	68.51	68.51
2024年3月期中間期	40.09	40.09

(注) 当社は、2023年4月13日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり中間利益」及び「希薄化後1株当たり中間利益」を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	70,223	28,482	27,933	39.8
2024年3月期	62,836	28,005	27,316	43.5

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	42,900	29.9	4,000	7.0	3,600	△13.0	2,300	△11.8	2,200	△15.2	75.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	29,990,400株	2024年3月期	29,990,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	675,091株	2024年3月期	675,048株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	29,315,338株	2024年3月期中間期	25,910,795株

(注) 当社は、2023年4月13日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しています。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しの等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約中間連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(後発事象) .....	13

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループのミッション（使命）は「医療という希望を創る。」です。このミッションに基づき、当社グループは、患者に向けては「患者視点の医療をひとりでも多くの方へ提供できる環境を創る。」、医療機関に向けては「地域に求められ、働きがいのある職場環境を創る。」、そして社会に向けては「医療課題の解決によって健全で持続可能な社会を創る。」ことを目指して様々なサービスを展開しています。

医療機関セグメントでは、国内においては病院、訪問診療クリニック、透析クリニック、外来クリニック等を運営する医療機関に対して経営支援サービス（経営戦略策定・経営管理支援、マーケティング支援、IT・経理・総務等支援、人事・採用機能支援等に加えて、M&A・PMI支援、新規クリニック開設支援、病床転換支援等のプロジェクト受注）を提供し、海外においては足病及び下肢静脈疾患クリニックの運営等を行っています。

ホスピスセグメントでは、ホスピス型住宅の入居者に提供するサービスの質を最重要視した上で、既存のホスピス型住宅の入居者増加に加え、看取り機能が脆弱な地域を中心にホスピス型住宅の新規展開を加速し、より多くの医療依存度の高い（がん末期、神経難病等を患う）入居者向けに訪問看護及び訪問介護を提供しています。

居宅訪問看護セグメントでは、利用者に提供するサービスの質を最重要視した上で、既存の訪問看護ステーションの利用者拡大に加え、新規エリアへの訪問看護ステーションの新規開設を行い、居宅の利用者向けに訪問看護を提供しています。

当中間連結会計期間の業績は、以下の表のとおりです。なお、当中間連結会計期間より、従来医療機関セグメントに含まれていたホスピスセグメントに対する不動産の賃貸及び保守管理サービスについて、ホスピス型住宅の新規展開を加速している状況を踏まえ、ホスピスセグメントに移管しています。前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

なお、EBITDAの計算式は次のとおりです。

EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

(当中間連結会計期間の業績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	比較増減	
			増減額	増減率
売上収益	15,346	21,611	+6,265	+40.8%
営業利益	1,778	3,047	+1,269	+71.3%
税引前中間利益	1,680	3,180	+1,500	+89.3%
親会社の所有者に帰属する中間利益	1,039	2,009	+970	+93.3%
EBITDA	2,591	4,169	+1,578	+60.9%

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

		前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	比較増減	
医療機関	セグメント売上 収益	5,143	8,903	+3,759	+73.1%
	セグメント利益	2,014	2,201	+187	+9.3%
	EBITDA	2,284	2,679	+395	+17.3%
ホスピス	セグメント売上 収益	4,705	6,705	+2,000	+42.5%
	セグメント利益 又は損失(△)	△50	690	+740	-
	EBITDA	255	1,145	+890	+349.6%
居宅訪問看護	セグメント売上 収益	5,522	6,077	+555	+10.0%
	セグメント利益	386	540	+154	+39.8%
	EBITDA	620	776	+155	+25.0%
その他	セグメント売上 収益	98	83	△15	△15.0%
	セグメント利益	4	55	+52	-
	EBITDA	8	8	+1	+6.6%
調整額	セグメント売上 収益	△123	△157	△34	-
	セグメント利益	△576	△439	+137	-
合計	セグメント売上 収益	15,346	21,611	+6,265	+40.8%
	セグメント利益	1,778	3,047	+1,269	+71.3%
	EBITDA	2,591	4,169	+1,578	+60.9%

## ① 医療機関セグメント

支援先医療機関の増加及びM&A支援報酬の増加等により国内の売上収益が増加したことに加え、2024年1月における米国足病事業の買収により海外の売上収益が増加したため、当中間連結会計期間における当セグメントの売上収益は8,903百万円（前年同期比73.1%増）となりました。

セグメント利益については、支援先医療機関の増加及びM&A支援報酬の増加等により国内における利益が増加したため、セグメント利益は2,201百万円（前年同期比9.3%増）となりました。EBITDAについては、国内における利益の増加に加え、米国足病事業の買収により海外においても増加したため、2,679百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

## ② ホスピスセグメント

前連結会計年度以前に開設した施設の稼働率が上昇したこと等により、当中間連結会計期間における売上収益は6,705百万円（前年同期比42.5%増）、セグメント利益は690百万円（前中間連結会計期間のセグメント損失は50百万円）、EBITDAは1,145百万円（前年同期比349.6%増）となりました。

## ③ 居宅訪問看護セグメント

コロナ関連サービス等（在宅治験及び健康観察支援サービス）に係る売上収益が減少した一方、利用者数と利用者当たりケア時間の増加に伴い、当中間連結会計期間ののべ総ケア時間（注）は607千時間（前年同期比16.5%増）となり、当セグメントの売上収益は6,077百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

セグメント利益及びEBITDAについては、コロナ関連サービス等に係る利益が減少した一方、看護師及びセラピス

トの稼働率向上により居宅訪問看護サービスに係る利益が増加し、セグメント利益は540百万円（前年同期比39.8%増）、EBITDAは776百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

（注）当社グループの看護師及びセラピストが利用者に居宅訪問看護サービスを提供した時間の合計。セラピストは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の総称。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上収益は21,611百万円（前年同期比40.8%増）、営業利益は3,047百万円（前年同期比71.3%増）、EBITDAは4,169百万円（前年同期比60.9%増）となりました。

また、2024年5月15日に、当社が完全子会社であるCUC America Inc.へ追加出資を行い、当該出資金によりCUC America Inc.が当社に借入金全額を返済したことにより、為替差益が362百万円発生しました。その結果、税引前中間利益は3,180百万円（前年同期比89.3%増）、親会社の所有者に帰属する中間利益は2,009百万円（前年同期比93.3%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び資本の状況）

資産合計は、前連結会計年度末比7,387百万円増の70,223百万円となりました。流動資産については、前連結会計年度末比5,765百万円増の23,416百万円となりました。これは主に2024年1月に拠出した米国足病事業の買収資金の復元を目的として長期借入金の借り入れを行ったことにより、現金及び現金同等物が4,907百万円増加したことによるものです。非流動資産については、前連結会計年度末比1,622百万円増の46,807百万円となりました。これは主にホスピス型住宅の増加に伴い有形固定資産が1,974百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末比6,910百万円増の41,741百万円となりました。これは主に、2024年1月に拠出した米国足病事業の買収資金の復元を目的として長期借入金の借り入れ7,000百万円を行ったことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末比477百万円増の28,482百万円となりました。これは主に親会社の所有者に帰属する中間利益の計上により利益剰余金が2,009百万円増加した一方、在外営業活動体の換算差額が1,023百万円減少し、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産が425百万円減少したことによるものです。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想については、2024年4月24日に「2024年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」で公表した内容から変更はありません。

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,256	13,163
営業債権及びその他の債権	8,758	9,617
棚卸資産	72	105
その他の金融資産	78	111
その他の流動資産	488	420
流動資産合計	17,651	23,416
非流動資産		
有形固定資産	12,028	14,002
使用権資産	7,669	8,385
のれん	13,642	13,158
無形資産	4,420	4,274
投資不動産	4,356	4,362
繰延税金資産	380	436
その他の金融資産	2,644	2,135
その他の非流動資産	44	55
非流動資産合計	45,185	46,807
資産合計	62,836	70,223

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,479	2,340
借入金	2,000	2,700
リース負債	1,159	1,096
預り金	508	566
未払法人所得税	960	1,195
契約負債	4	5
その他の流動負債	1,281	1,455
流動負債合計	8,391	9,359
非流動負債		
借入金	16,434	21,567
リース負債	7,126	7,944
退職給付に係る負債	233	252
繰延税金負債	1,453	1,289
その他の金融負債	677	732
その他の非流動負債	518	599
非流動負債合計	26,440	32,383
負債合計	34,831	41,741
資本		
資本金	7,669	7,669
資本剰余金	7,761	7,819
利益剰余金	10,307	12,316
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	1,578	129
親会社の所有者に帰属する持分合計	27,316	27,933
非支配持分	689	549
資本合計	28,005	28,482
負債及び資本合計	62,836	70,223

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書  
(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	15,346	21,611
売上原価	7,957	10,901
売上総利益	7,389	10,711
販売費及び一般管理費	5,600	7,737
その他の収益	20	84
その他の費用	31	10
営業利益	1,778	3,047
金融収益	17	361
金融費用	115	228
税引前中間利益	1,680	3,180
法人所得税費用	651	1,199
中間利益	1,029	1,981
中間利益の帰属		
親会社の所有者	1,039	2,009
非支配持分	△9	△28
中間利益	1,029	1,981
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	40.09	68.51
希薄化後1株当たり中間利益(円)	40.09	68.51

## (要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益	1,029	1,981
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	△233	△425
純損益に振り替えられることのない項目合計	△233	△425
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	194	△1,104
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	194	△1,104
税引後その他の包括利益	△39	△1,529
中間包括利益	990	452
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	948	560
非支配持分	42	△108
中間包括利益	990	452

## (3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活 動体の換算 差額	新株予約権	
2023年4月1日残高	1,063	1,258	7,715	-	479	34	
中間利益	-	-	1,039	-	-	-	
その他の包括利益	-	-	-	-	143	-	
中間包括利益合計	-	-	1,039	-	143	-	
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	-	
新株の発行	6,606	6,503	-	-	-	-	
新株予約権の発行	-	-	-	-	-	4	
株式に基づく報酬取引	-	-	-	-	-	7	
非支配持分との取引	-	-	-	-	-	-	
所有者との取引額合計	6,606	6,503	-	△0	-	12	
2023年9月30日残高	7,669	7,761	8,753	△0	622	46	

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計	合計	合計		
	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計					
2023年4月1日残高	1,155	1,669	11,704	216	11,920		
中間利益	-	-	1,039	△9	1,029		
その他の包括利益	△233	△90	△90	51	△39		
中間包括利益合計	△233	△90	948	42	990		
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0		
新株の発行	-	-	13,109	-	13,109		
新株予約権の発行	-	4	4	-	4		
株式に基づく報酬取引	-	7	7	-	7		
非支配持分との取引	-	-	-	-	-		
所有者との取引額合計	-	12	13,121	-	13,121		
2023年9月30日残高	922	1,590	25,774	258	26,031		

当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	新株予約権
2024年4月1日残高	7,669	7,761	10,307	△0	589	80
中間利益	-	-	2,009	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	△1,023	-
中間包括利益合計	-	-	2,009	-	△1,023	-
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	-
新株の発行	-	-	-	-	-	-
新株予約権の発行	-	-	-	-	-	6
株式に基づく報酬取引	-	59	-	-	-	△7
非支配持分との取引	-	△2	-	-	-	-
所有者との取引額合計	-	57	-	△0	-	△1
2024年9月30日残高	7,669	7,819	12,316	△0	△435	80

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計			
2024年4月1日残高	909	1,578	27,316	689	28,005
中間利益	-	-	2,009	△28	1,981
その他の包括利益	△425	△1,448	△1,448	△80	△1,529
中間包括利益合計	△425	△1,448	560	△108	452
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0
新株の発行	-	-	-	-	-
新株予約権の発行	-	6	6	-	6
株式に基づく報酬取引	-	△7	52	-	52
非支配持分との取引	-	-	△2	△32	△33
所有者との取引額合計	-	△1	57	△32	25
2024年9月30日残高	484	129	27,933	549	28,482

## (4) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「医療機関」、「ホスピス」及び「居宅訪問看護」の3つを報告セグメントとしています。

「医療機関」は、経営戦略支援、経営管理支援、人事労務支援等を主な支援メニューとした医療機関に対する各種運営サポート、足病及び下肢静脈疾患クリニック等の運営を行っています。「ホスピス」は、ホスピス型住宅の入居者に訪問看護及び訪問介護サービスを提供、「居宅訪問看護」は、居宅の利用者に訪問看護サービスを提供しています。

## (2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目は以下のとおりです。

なお、報告セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいています。

前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約中間 連結財務 諸表
	医療機関	ホスピス	居宅訪問 看護	計				
売上収益								
外部収益	5,020	4,705	5,522	15,248	98	15,346	-	15,346
セグメント間収益	123	-	-	123	-	123	△123	-
合計	5,143	4,705	5,522	15,371	98	15,469	△123	15,346
セグメント利益又は損失 (△) (注) 3	2,014	△50	386	2,350	4	2,354	△576	1,778
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	17
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	115
税引前中間利益	-	-	-	-	-	-	-	1,680
中間利益	-	-	-	-	-	-	-	1,029
その他の項目								
減価償却費及び償却費	252	311	234	797	5	802	-	802

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局サービス、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス等を含んでいます。

2. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△576百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約中間 連結財務 諸表
	医療機関	ホスピス	居宅訪問 看護	計				
売上収益								
外部収益	8,746	6,705	6,077	21,528	83	21,611	-	21,611
セグメント間収益	157	-	-	157	-	157	△157	-
合計	8,903	6,705	6,077	21,685	83	21,768	△157	21,611
セグメント利益又は損失 (△) (注) 3	2,201	690	540	3,430	55	3,486	△439	3,047
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	361
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	228
税引前中間利益	-	-	-	-	-	-	-	3,180
中間利益	-	-	-	-	-	-	-	1,981
その他の項目								
減価償却費及び償却費	479	469	244	1,192	4	1,196	-	1,196

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局サービス、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス等を含んでいます。

2. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△439百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

### (3) 報告セグメントの変更に関する情報

当中間連結会計期間より、従来医療機関セグメントに含まれていたホスピスセグメントに対する不動産の賃貸及び保守管理サービスについて、ホスピス型住宅の新規展開を加速している状況を踏まえ、ホスピスセグメントに移管しています。

また、前連結会計年度に、米国において足病及び静脈疾患クリニックの運営を行うCUC Podiatry Holdingsの持分の79.35%を取得し、連結子会社としたことに伴い、当社グループ全体の事業内容を適切に表示するため、前連結会計年度末より報告セグメントの名称を従来の「医療機関支援」から、「医療機関」へ変更しています。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

## (後発事象)

## (株式取得による子会社化)

当社は、2024年9月25日付の取締役会において、札幌市において住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅を運営する株式会社ノアコンツェルの全発行済株式を取得し、連結子会社とすることを決議し、2024年10月2日付で株式を取得しました。

## (1) 株式取得の目的

当社は、「医療という希望を創る。」をミッションとして掲げながら、国内においては医療機関への経営支援、ホスピス型住宅の運営、訪問看護の提供を行っています。

この度、当社が株式を取得する株式会社ノアコンツェルは、札幌市において住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅を運営し、入居者へ定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを提供しています。

本株式取得により、これまで当社グループが取り組んできた事業を軸として、より多様な利用者に対してサービスを提供することが可能になります。今後は、一部の施設の部屋をホスピス型住宅に転換することや、より医療依存度の高い入居者の受け入れを行うことにより、これまで入居の選択肢が限られていた利用者の新しい受け皿を作ることを想定しています。また、DX化やバックオフィスの最適化を行い、効率的な運営体制を構築していきます。

## (2) 対象会社の概要

商号 : 株式会社ノアコンツェル  
 本店の所在地 : 北海道札幌市豊平区平岸7条14丁目1番32号  
 代表者の氏名 : 若月 昭浩  
 資本金 : 100百万円  
 事業の内容 : 住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の運営、介護保険法に基づくサービスの提供、服薬支援システムを開発・販売  
 取得企業が被取得企業の支配を獲得した方法 : 現金を対価とする株式の取得

## (3) 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式数の状況

異動前の所有株式数	0株 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0.0%)
取得株式数	204,600株 (議決権の数: 204,600個)
取得価額	ノアコンツェルの株式 5,300百万円 付随費用等(概算額) 275百万円
異動後の所有株式数	204,600株 (議決権の数: 204,600個) (議決権所有割合: 100.0%)

## (4) 企業結合日における資産・負債の公正価値及びのれん

取得した資産および引き受けた負債について、取得日の公正価値を算定中のため、現時点では確定していません。